

山形の母なる川

# 最上川

vol.4

平成17年12月28日

[発行]

山形県倫理法人会

山形市やよい二丁目1-47

TEL 023-647-5582

FAX 023-646-7660

表紙題字／中村俊光氏

## CONTENTS

会長挨拶	2
我が社の朝礼・倫理と出会って	3
各単会の報告	4
家庭倫理の会山形発足	6
上山市倫理法人会設立に向け	7
秋津書道会「山形法人支苑」開設	8



社団法人 倫理研究所

山形県倫理法人会



山形県倫理法人会会長 近 清剛

# 明けまして おめでとーいびーびーます

県内各地の除夜の鐘、行く年来る年の全国の映像を待ちながら、新しい年が明けました。日本もさることながら、地球上で発生した人間の善悪のつかない様々な出来事と哀歓、自然の現象を顧みることなく、『時』は淡々と過ぎ、一分一秒の狂いもなく西暦『二〇〇六年』の改新を告げました。

天より与えられた恵みに、気持ちを引き締め、新たな清らかな気持ちで新年を迎え、第一歩が始まりました。会員の皆様には、恙無くご家族皆様と新春をお迎えのことと存じます。心から新年のお慶びを申し上げます。

旧年は、閉塞感が長く続く中、漸く経済を先導する主産業が好転をし始めました。されど多くの産

業は未だ試行錯誤の中、新しい年を迎え、太陽が昇り、全てに初日の出の陽光が降り注ぐのを期待するように、希望と夢の年に、人々にとつて平和な年となるよう心に念じるものです。

昨年、倫理研究所は還暦の六十年を迎えられました。誠に素晴らしいことであり、創設者丸山先生に、関係者の先人と現理事長をはじめとする幹部役職者と職員の皆様にご挨拶と敬意と感謝を申し上げます。本年もなにとぞ宜しく当県法人会に、ご教示ご指導ご高配を賜りますようお願い申し上げます。そして会員の皆様、旧年中は何かとご指導ご鞭撻を賜り心より感謝御礼申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

ます。

二〇〇六年（倫理年度二〇〇七年）、山形県倫理法人会は十五年の節目を迎えます。本年はそれを迎える助走の年であり、倫理法人会は二〇〇七年、全国五万社を目指し各県はその目標に様々な拡大政策を実施中です。昨年、山形市倫理法人会はモーニングセミナー日本一を達成され、今年度、寒河江市倫理法人会の皆様は、倫理経営講演会・日本一を目指し着々と計画を進められております。

その燃える意欲が伝わり、丸山理事長のご講演をお迎えすることになりました。誠に同慶に堪えません。寒河江の皆様のご積極さに敬意を申し上げます。

昨年わが国は市町村合併が誘導され、当県でも新しい市・町が誕

合掌

## 我が社の朝礼



この度、朝礼を取材させていただきました。いただきたいと、県の広報委員長

より指名がありました。

私どもの会社は大正十年創業で、初代の庄司一松（祖父）は菓子製造から始まりました。その後、一夫（父）も菓子製造に進みました。しかし製造二人では原料がないことから卸売業を始め、砂糖、キャラメル等、幅広い分野の卸売手がけました。そこに三代目の私が卸売を継ぐよう命ぜられました。その後、飲料のダイドードリンコの特約店となり、現在に至っています。又、本店の菓子店では、舟唄温泉、柳川温泉、道の駅等に出品し、現在では、ふ餅、笹ゆべし、いが餅、くるみゆべし、かぼちゃまんじゅう、たぬきのひとりごとを販売させていただいております。朝礼は、職場の教養を使わせていただき、リーダーによる輪読、感想、今日の心がけの唱和、セブ

寒河江市倫理法人会

MS委員長 庄司 俊夫  
（前藤島屋商店 代表取締役）

ンアクトの斉唱、あいさつ練習、朝礼を終わり、その後一人一人との一日宜しくとの握手によるあいさつ、席についてのミーティングと続き、それぞれ車での営業に出かけます。おかげ様で社員の方々も明るくきびきびと出かけられるようになったこと、感想を述べる時に、心に思っていることがわかること、チームワークが出来ること、色々良い所がこの活力朝礼で得られます。たかが十分ですが、毎日の十分はされど十分で、



すばらしい社内が変わります。皆様も朝礼を行っていると思います。これからもお互いに元気のある、前向きな職場を目指しましょう。

## 倫理と出会って



水曜早朝六時 三十分 朝の清々しい空気を腹一杯吸って、心

の奥底から倫理法人会の歌の斉唱「今日もみなぎる光をあびて…」その後、万人幸福の栞十七カ条斉唱「今日は最良の一日：」。

毎回この十七カ条を斉唱しながら、私達が日常生活の中で実行する事に依り、正しさが証明出来る尊い生活の法則を、丸山先生が、戦後の混乱期に起稿されたことを驚くと同時にあまりの素晴らしさにいつも感動しております。毎週のMSに参加することは一週間の行動計画を確認し、心の安らぎと豊かさを得る大切な時間であります。また、次週も待ち遠しく、多くの倫友との出会いを楽しみでもおります。私が倫理法人会を知ったのは、昨年の一月、長年の友人である現、釜石市法人会会長の加藤しも子氏より、企業の経営者が集い真剣に勉強会を行っている会

生しました。税の配分を巡る政策であります。人類社会の歴史は、青年から壮年の時代に入ったと言われます。バブルがはじけ経済は停滞しましたが、国家史上類例の無い成長を経験し、今又国家史上類例の無い急速な高齢国家と人口の減少、世界が経験の無い、減少経済を迎えていきます。その様な歪なのでしょうか、昨年末は構造偽装事件、世も末のようなおぞましい事件、絶対許せないことが普通に発生しています。

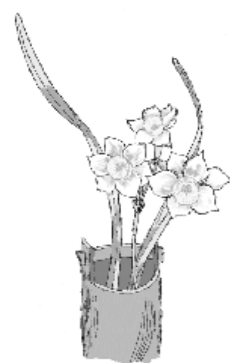
人口、エネルギー、環境、地球資源と様々な課題に直面してあります。これらを進めるにあたり、なぜ人間に倫理が必要なのか、特に私達は倫理を学ぶ一員です。『技よりも道』として、倫理の自覚を高く、家庭、企業、郷土を愛し貢献し、新しい年・歴史を開いてまいります。

皆様に良き年であることを祈念申し上げます。

天童市倫理法人会

MS委員長 佐々木 新次  
（アロエベラ東北 代表）

があるので参加してみても…との勧めでした。昨年六月に入会し、多くの倫友からの貴重な実体験を通じて、心の持ち様、経営の在り様、先祖を敬う心、家庭・夫婦円満の大切さ等、多くのことを学ぶことが出来ました。今後は、仕事に・家庭に倫理で体得した素晴らしい事項を礎に、明朗・愛和・喜動の精神を重んじながらその実践活動にも努めて行く所存です。また、MS委員長として一人でも多くの倫友を迎え入れて、天童市倫理法人会の活性化を図りながら、地域社会のため少しでもお役に立てられるよう精進して行きたいと思っております。倫理法人会に出会って感謝・感謝の毎日です。有り難うございます。



# 酒田市 倫理法人会



新年度にあたり、酒田市倫理法人会では「企業朝礼訪問」という新しい取り組みを始めました。月に一度、活力朝礼を実践している会員企業を訪問して自社の朝礼に取り入れるというのが主な目的ですが、他にも会員同士の親睦を図るという意味もあります。

十二月十四日(水)には早速、第一回目の企業朝礼訪問が行なわれました。MSよりも少し遅い時間ということもあってか、普段なかなか参加できない会員も大勢参加して頂きました。今後も会の充実のために新しい活動に積極的に取り組みたいと思います。

# 山形市蔵王 倫理法人会



平成十七年十月二十二日(土)、山形市蔵王倫理法人会のメンバーが集まり、秋風がそよぐ唐松観音下の川原で盛大に「いもに会」が開催されました。この日は会員のご家族も参加して普段のお堅い雰囲気から一転して、和気藹々といった楽しい「いもに会」となりました。

倫理を学ぶ会員と家族の参加とあってアットホームな雰囲気です。お酒も飲みながら、お料理が趣味?いやプロ級の榊吉田段ボールの池田さんのお計らいで、鮎のバーベキュー大会となりました。また、会員の子供さんたちが輪投げ大会で大盛り上がり。空クジなしということで、おみやげいっぱい大喜びでした。今日一日家族同伴でお互いに親睦を深めることができ家族円満。まさしく倫理の元を見せられた一日でした。いろいろ事前にご協力をいただきました関係者様に感謝を申し上げます。

# 米沢市 倫理法人会



米沢市倫理法人会は現在会員企業一〇〇社達成に向けて、頑張っています。事業計画として

(1)普及拡大(一〇〇社達成) 平成十七年十二月末日まで

(2)地域貢献(年三回以上の清掃活動)

(3)強い法人会づくり(役員朝礼の実施)を目標に掲げ、確固たる信念のもとに行動してまいります。

翌年二月十四日には一〇〇社達成記念講演を予定し、背水の陣で取り組み上杉鷹山翁の言葉通り「成せばなる、成さねばならぬ何事も」を合言葉に会員企業様と実践してゆく覚悟です。

辞令拝受の心得を読み、役員一同モーニングセミナーや職場の教養を通して日本をよくする気持ちを育ててゆきたいと思っています。

# 山形市 倫理法人会



当会では、形から入る倫理の実践をMSで行っています。まず、会員の皆さんをお迎えするため、役員は三十分前に集合し役員朝礼を行います。その後、MS進行のリハーサルを執り行い本番に臨みます。中村会長の指導のもと、終止一貫、きちんと整列、気を付けの姿勢を大切に、全体のバランスを考えた隣の人のとの間隔の取り方、また、リーダーがいかに会員とのあうんの呼吸をつくり出すかなど、他の人の様子を把握しながら、自分が動くという方法を実践しています。こうした小さなことの繰返し、思いやりやコミュニケーション力を磨くのだ倫理の実践教育の素晴らしさを感じているところです。

## 倫理法人会憲章

倫理法人会は、実行によって直ちに正しさが証明できる純粋倫理を基底に、経営者の自己革新をはかり、心の経営をめざす人々のネットワークを拡げ、共尊共生の精神に則った健全な繁栄を実現し、地域社会の発展と美しい世界づくりに貢献することを目的とした団体である。これがため以下「活動指針」と「会員心得」を掲げる。

### 【倫理法人会活動指針】

1. 倫理の学習と実践の場を提供し、よりよい生活習慣とゆたかな人間性をそなえたリーダーを養成する。
2. 深く家族を愛し、篤く祖先を敬い、なごやかでゆるぎない家庭を築く人を育てる。
3. 「明朗」「愛和」「喜働」の実践により、躍動する職場づくりを推進する。
4. 愛と敬と感謝の経営をめざす会員の輪を拡げ、各種の活動をとおして地域社会の発展に寄与する。
5. 自然を畏敬・親愛し、「地球人」たる自覚を深め、環境の保全と美化に貢献する。

### 【倫理法人会会員心得】

1. 朗らかに働き、喜びの人生を創造します。
2. 約束を守り、信頼の輪をひろげます。
3. 人を愛して争わず、互いの繁栄をねがいます。

# 鶴岡市 倫理法人会



◆当たり前ですが、鶴岡市ではモーニングセミナーを毎週順調に開催しています。季節柄、朝は寒くて暗いのですが、もっと多くの皆様からご参加いただきたいなあ。毎回結構オモシロイ出し物をやっているんですよ。

◆来年一月第一週目のモーニングセミナーは「正月休み」。年に一回か二回の休みですから、今から楽しみです。

◆一月十三日には、川又副方面長をお迎えして朝礼研修を開催します。ほぼ一年ぶりの朝礼研修です。

◆四月二十二日(土)、二十三日(日)鶴岡市高館山で「ブナ文化フォーラム」を開催します。酒田市倫理法人会さまと共催です。

# 寒河江市 倫理法人会



当会の本年度の倫理経営講演会は「日本創生的心」をメインテーマに、来春の五月十八日に開催致しますので、動員目標六百余名の聴衆に向けて丸山敏秋理事長のご講演をいただける事となりました。

加えて、山形県全員大会も同時開催の運びとなり、会場の選定等も含めて、実行委員会が動き出すとしております。今後は倫友及び非会員の方々にも広く呼びかけ、ご理解をいただけるよう活動する事になりますので、各単会の役員の方には特段のご協力をお願いするところです。

また年明け二月末には、富士研での経営者倫理セミナーに参加して、中村会長の元、更に役員の結果を固め、来るべき同時開催に臨みたいと思っております。

懸案のM・Sの参加社(者)数が、最近中だるみの様相ですので、月一回会員スピーチを取入れて活性化を諮ると共に新会員のオリエンテーションも年明け早々設定しているところです。

# 天童市 倫理法人会



今回の幹部研修は株式会社オプセット印刷の吉岡貞義様よりご指導をいただきました。その中で、埼玉県の広報委員長をしていただいた時に製作された『感動の泉』をご紹介いただきました。相田みつを氏や松下幸之助氏の一文等が記載されており、参加した皆が時間を忘れて拝聴させて頂き予定時間を延長しての研修になりました。MSも前日同様震撼させられる内容で、朝食会も大変盛り上がり、後日、会員の皆様に『感動の泉』を配布したところ、会員の方からも反響を頂き、改めて『出会い』に感謝いたしました。山形市の二月十三日《倫理》では吉岡貞義様が事業体件報告をされるので、期待も膨らみ楽しみにしております。

また、イブニングセミナーでは、千葉県流山市の荒井久満様からご来臨頂き、朝礼に『職場の教養』を初めて取入れた時の社員の《輪読》に対する反応や、富士研に参加された体験談等、実質的に役立つ内容で『正しいことをやっていたら、周りが変わる』『万人幸福の葉は、人間の取り扱い説明書』と言うお言葉が印象に残った内容の濃いご講話で、充実したセミナーを開催できました。



# 秋津書道会「山形法人支苑」開設する

山形市倫理法人会 会長 中村恒一

今月十一日この冬初めての降雪となった日曜日の午前十時、山形市倫理法人会は、十八年度事業の一環として準備を進めてきた秋津書道会・山形法人支苑のスタートを祝いました。

開設式は、真っ白の半紙が全市を被ったような美しい雪景色の中、倫理研究所から島田光男文化部長、岡元孝夫選任研究員、県から柴田津與志幹事長を迎え、佐々木専任幹事の進行の下十一名の出席会員とともに肅々と行われました。

はじめに島田光男文化部長は、倫理研究所の文化活動について、単に興味として楽しむ、字が上手くなるということだけでなく、『ところに空所な時を持つ』訓練となり事業繁栄の基である気付きが磨かれると説かれ、式辞とされました。

つづいて柴田幹事長からは、九十二歳になるお父さんが現在も元気に俳画や南画を楽しまれていることをはなされて激励をこめたご祝辞を頂戴しました。

次に、齋藤茂美さんに支苑チーフの辞令が交付され、その後担当指導員となる岡元孝夫選任研究員の紹介とご挨拶があり、最後に私より謝辞、齋藤茂美支苑チーフの閉会の辞で幕を閉じました。

終了後、岡元研究員のご指導で初練習会が催され、真新しい筆の下ろし方、墨の磨りかた、筆書に臨む姿勢や心得をお聞きして筆の運び方を学びました。

愈々一月二十一日土曜日午前十時より、やよい町合同事務所に於て第一回例会が行なわれることを確認して終了となりました。昼食を共にして解散の一時三十分頃には薄日の差す穏やかな天候となり晴々とした気分で皆家路につきましました。

## 筆硯得佳友

この頃、とみに時の流れの速さに驚嘆し、辟易していました。

そんな時、丸山敏雄伝中に「私たちは、成長するにつれて生活に

追われ、仕事におぼれて次第に心のふるさとを忘れてしまう。私利私欲にとらわれ、我に執着して、もがき悩み、知らず知らずのうちに周りの人びとをも苦しめていることがある。そんな時、たとえわずかな時間でも筆を手にとってみる。筆を持つて無心に書いてみる時私たちは我を忘れ、純粹な心に立ち戻ることが出来る。」の一文にふれ、今必要なものはこれだと思いました。以来この小さな思いは日を追うごとに膨らんでいきま

した。そんなある日、新聞に『筆硯得佳友（ひつけん、かゆうをえる・書はよき友を得る）』の文字を見つけ心が決まりました。

## 至心の結晶

丸山敏雄は、「書道とは心のふるさとに帰る道である」と説き、その「ふるさと」を至心と言ひ「至心の結晶」としてかかれた書は、

上手下手を超えて人の心を打つ名作となる。この至心を磨くことこそが、敏雄にとつて書道の究極の目的であった。と残されています。

倫友の皆さん、一緒に書を学びませんか。

## 得手を生かせ

社団法人倫理研究所法人局  
局長 中西浩



人には向き不向きがあると言われる。本人がその気になって頭をしばり、汗を流して必死に努力しても、なんともならないものが世の中にはたくさんあります。

また、成功者が口にする言葉のひとつに「この世の中は1%の才能と99%の努力で事は成就するから、うまずたゆまず努力せよ」と言いますが、果たしてこの言葉には信憑性があるのでしょうか。

世の中の多くの人を見ていると、大成する人は、もともとかなりの素質を持ち合わせており、人並み以上のたゆまざる努力をいとわず、目的を達するために執念を燃やし、不撓不屈の精神で事にあたり、かつツキに恵まれています。当然、ツキに恵まれるためにも、常に心身を磨き高めています。

まず私達は、他人をうらやむことなく比較することなく、今の自分を深く掘り下げ、自分の最もすぐれたところはどこか自覚し、その得手なところで最大限の力が発揮できるよう、あくまでも自らの可能性を信じ前向きに取り組むべきです。

全国の普及現場を眺めると、攻撃型タイプの役員と、守備型タイプの役員と、多くの中

間タイプの役員がいます。これは、企業経営者にも当てはまるものです。創業オーナーの方々はどちらかといえば攻撃型タイプが多く、二代目、三代目になると守備型タイプが増えるようです。

この攻撃型と守備型を一人で兼ね備えている経営者は、本当に少ないものです。普及拡大は攻撃型がリードし、内容充実の時には守備型が力を発揮して会は安定するものです。

幹部役員の皆様は、それぞれ自分の持ち味を知り、会運営の上で自分はどうのような働きを担っているか自覚し、今やるべきことに全力を傾けて取り組んで下さい。

今年もわずか、充実した日々を重ね、よき年を迎えられるよう祈っています。